

ギターの一筋 48年 音楽でつなぐ人々との縁

音楽家・「ゴダイゴ」ギタリスト
浅野 孝己さん



上) Tool Boxでのライブ(2010/8/28)
下) 東大和ハミングホールでの
TAGC-TOKYOライブ(2010/3/6)



「ガンダーラ」や「モンキー・マジック」「銀河鉄道999」などの大ヒット曲で1970年代後半に一世を風靡した、国民的グループ「ゴダイゴ」のオリジナルメンバー。日本のトップレベルのギタリスト、浅野孝己さん(59歳)は現在、ライブや、音楽制作、新人のプロデュースなど幅広い分野で活躍している。

8月も終わろうとする土曜日の屋下がり、小平市花小金井のカフェ TOOL BOXで浅野さんのライブが開催された。5月に続き2回目の TOOL BOXでのライブ、遠くは神戸からファンが駆けつけたほど、浅野さんのギターに心酔するファンが多い。カフェ2階の片隅をステージにして、「少年時代」からロック調「威風堂々」、自ら作曲したゲームミュージック

クに至るまで、アコースティックギターとエレキギターを駆使したソロ演奏で観客を楽しませた。その多彩なテクニックは素人目から見ても「すごい!」の一言だった。

16歳でプロの道へ

ギターとの出会いは小学6年の頃。当時ラジオでベンチャーズやビートルズを聴いて、ギターに憧れていた浅野少年はお年玉で中古のギターを手に入れた。そして中学に入るとギター教室に通い始める。そこで1年かかるコースを何と3ヶ月で終了。「もう教えることはない」と先生から言われたというから、生まれながらの天才ギタリストなのだろう。

中学でバンドをつくり、高校に入るとその実力を買われてライブハウスなどに出演。16歳にしてプロの道に入った。数々のバンドで経験を積んだ後、68年にニューロックバンドの一つ「The M」に参加。73年に解散後はアイドルグループ「チャコとヘルス エンジェル」へ。75年解散後は以前から参加要請されていた、ミックキー吉野グループへ参加。このグループにタケカワユキヒデが加わりゴダイゴが誕生したのだ。そして78年から今も歌い継がれる名曲の数々で大ブレイク。

「当時のスケジュール表には、27時」という時間が書いてあったんですよ。睡眠時間は3時間くらい。テレビ出演が1日に2、3本。コンサートが年に100本という、すさまじい時代でしたね」と語る浅野さんはこの頃結婚し、現在28歳と23歳になる娘さんの父親でもある。

福岡での多大な地域貢献

数々の伝説を残して、85年にゴダイゴは解散したものの、浅野さんのその後の活躍はめざましい。音楽専門学校の副校長を務め、93年にはプロデュースした岡本真夜子のシングル「TOMORROW」がチャート1位を記録。その後も日本楽器移植ネットワーキングキャンペーン「for心からの笑顔」を楽曲提供、CD発売。「鹿鳴館」の舞台音楽担当、新人のプロデュース活動など。中でもここ数年は福岡を中心に行き来して精力的に動いている。

福岡の街でキラリと光っていた若いミュージシャンを発掘し、「Gum2」というユニットをプロデュース。自らもベーシストをつとめ、地元テレビやライブで活躍中だ。それだけではなく、福岡の名門、筑紫女学園の講堂落成記念公演をプロデュース。1年がかり

でお経とロックという斬新なステージを制作。学生とプロとの融合が話題になった。

このことがきっかけで、福岡教育大学附属福岡小学校から依頼され、生徒たちが「いのち」をモチーフに詩を書いたものに、浅野さんが作曲。それが第二校歌となっている。大牟田では廃坑10周年記念イベントで「三池炭坑節」をフラバージョンにアレンジ。町おこしに役買った。おなじバンドのメンバーであるドクターから頼まれ、月1回、デイサービスでもコンサートを開き、お年寄りとの交流も続いている。

「緑から始まった仕事はやりがいがありますね。音楽の力をこちらが与えるだけでなく、逆に僕の方が楽しませていただいています」

地元でもライブを

「音が出る場所を」の願いで、13年前に中野から小平へ引っ越した。「車の音が聞こえないし、緑が多くて空気が違う。窓から見える、揺れる葉に合わせて曲が作れます」

地元では、保谷こもれびホールが開催する「こもれびバンドコンテスト」の本審査委員長を務めている(来年2月第3回開催)。東大和ハミング

ホールでも今年3月「インディーズ・アーティスト・ショーケース」でゲストライブに招かれ、来年も出演予定。浅野さんはただ名前だけの審査委員長は望まない。これまでの経験を活かして、企画から積極的に参加したい。「自分の住んでいる街をより良くしたい」という思いがあるから。今後地元でのライブを増やしたいと願う。

自身が率いる「TAGC-TOKYO」では8月にCD「新月」をリリース。06年から本格的に再始動したゴダイゴのコンサートは11月20日に渋谷O-Canyonホールで開催される。また、

ふとがね金太、松田弘らとのユニット「Forever」のディナーショーも控え、この秋も大忙しだ。

「一見してアーティストと分かる風貌に、最初は近寄り難さを感じるけれど、お話しすると穏やかで温か。『甘いものは和風に限る。あんこ大好き』と守屋を操りながら笑う。来年は還暦を迎える。ギターとともに歩いた節目に真っ赤なギターを特別注文している。それを抱えてビッグな還暦ライブを催す予定だ。浅野さんの究極のギターサウンドを追求する旅は終わらない。(小平市在住)」